



小金井 2015.8/1 No.448 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

起きます！ 起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！ 僕・私！
仲間へのメッセージを、
この場所で！！

特集：小金井の涼を求めて

蒸し暑い夏に涼しい小金井のおすすめスポットを、ご紹介します。中央線を挟んで、北側を「緑の北」として緑地を、南側を「水の南」として水辺をピックアップしました。ぜひ出かけてみてください。

■小金井公園

言わずと知れた小金井を代表する公園。緑豊かで広大な敷地の中には、木陰スポットがたくさんあります。自分のお気に入りの場所を見つけてみてください。

園内ではサイクリングコース・遊具などがあり、様々なイベントも行われているので、幅広い年齢層の方が楽しめます。



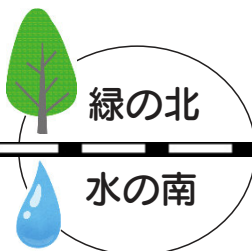
■東京学芸大学 ケヤキ並木・note cafe

東京学芸大学東門から続くケヤキ並木は、背の高い木々に囲まれ、木陰のトンネルのようです。ケヤキ並木を西へ抜けるとすぐに図書館があり、1Fには6月にオープンしたばかりのカフェ「note cafe」があります。大学と地元企業が協働で設営しているカフェです。一般の方も利用できます。(営業日時 月曜～土曜10:00～18:30)



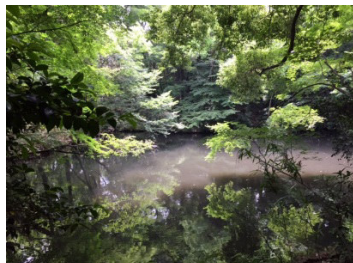
■浴恩館公園 (緑町3-2-37)

公民館緑分館の隣にある公園で、木々が生き茂り、池もあります。遺跡や古文書などが保存されている文化財センターがあるので、小金井の歴史を勉強しながら涼みにきてはどうでしょうか。(センター開館時間 9:00～16:30 休館日：月曜日、祝日にあたる時は翌日)



■滄浪泉園 (貫井南町3-2-28)

「はけ」と呼ばれる国分寺崖線の崖下から豊かな地下水が湧出し、その湧水を集めた広い池があります。また樹木も茂り、昔の武蔵野の面影をとどめている場所で、東京都名湧水の1つになっています。(7/15～9/30まで無料開園中 開園時間：9:00～17:00 休園日：火曜、祝日は開園)



■はけの小路

はけの森美術館の庭園にある湧水を野川に導く水路です。短い距離ですが、遊歩道になっており、涼しいせせらぎが楽しめます。



■野川

国分寺を水源とし、国分寺崖線の湧水を集めて小金井を流れる川です。所々に川岸に下りられる場所があるので、歩いて散歩するのもオススメです。公民館東分館で源流から下流までを歩く「野川を歩く」という講座も過去に実施しています。



蚊の多い季節なので、虫除け対策はしっかりしましょう

第24回 緑センターまつり 実施 5月29日(金)～5月31日(日)

3日間天候に恵まれ、多くの方が緑センターまつりに足を運んでくださいました。

今年の公民館主催の記念イベントはアコースティックデュオ「ふたば」によるライブコンサートでした。



「ふたば」には昨年も出演していただいたのですが、大反響で今年も是非呼んで欲しいとの声を多数頂いたため、今年も出演をお願いしました。

若い出演者をお呼びしての記念イベントでしたので、当日は、普段公民館を利用しない多くの若い世代の方たちが来館されました。もちろん普段からの利用者の方にも大変好評でした。

作品展示では新しいサークルも参加し、24回を迎えてもなお新しい風が入り、進化し続けています。来年は記念すべき第25回を迎えます。どのような発表となるのか今からとても楽しみです。

「陶芸入門教室」 緑分館

作陶から本焼き、窯出しまでを体験し、作る喜びと感動を味わえます。湯のみや花器を7個～10個作ることができます。

とき 下表のとおり ところ 公民館緑分館

講師 松本 芳実さん(陶芸家)

対象 全日程参加できる市内在住者

定員 24人(多数抽選) 参加費 5,000円(材料費)

申込 8月31日(必着)までに、往復はがきに楷書で住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記し、公民館緑分館「陶芸入門教室」係(〒184-0003 緑町3-3-23)へ。

その他 受講資格は当選者本人に限ります。

※原則木曜日午後1時30分～午後3時30分

印のある日程のみ、都合により曜日、または時間を変更

回	日程	時間	内容
1	9/24(木)	13:30～15:30	作陶
2	10/ 1(木)		
3	10/ 8(木)		
4	10/15(木)		
5	10/22(木)		
6	10/29(木)		
7	11/ 5(木)		
8	11/11(水)	13:30～15:30	窯詰め
9	11/19(木)	12:30～17:00	窯出し、釉掛け
10	11/25(水)	13:30～15:30	窯詰め
11	11/26(木)	13:30～15:30	本焼き
12	12/ 3(木)	13:00～15:30	窯出し

第28回 東センターまつり 実施 7月3日(金)～5日(日)

毎年、梅雨の蒸し暑い中行われる「東センターまつり」ですが、今年はいにくの雨の中での開催となりました。

昨年は残念ながら雨のため中止になってしまった、2日目の正午から予定されている、恒例の屋外でのイベント「めんそーれー沖縄ワールド～獅子舞とエイサー～」ですが、今年はいくの雨の中での開催となりました。恒例の屋外でのイベント「めんそーれー沖縄ワールド～獅子舞とエイサー～」ですが、今年はいくの雨の中での開催となりました。恒例の屋外でのイベント「めんそーれー沖縄ワールド～獅子舞とエイサー～」



公民館主催イベントとして昨年に引き続きロビーコンサートを行い、今年は「ハーブのひととき」と題し、滅多に生で聴くことのできないハーブの音色にみなさん酔いしれていました。また、ハーブにも触れることもでき貴重な体験もできたかと思えます。

そして、ジャズやフォークソングの生演奏と利用団体の力作ぞろいの展示、お茶席、囲碁交流会、歌や踊りの発表会、模擬店など各ブースとも賑わっていました。

最終日にはキッズダンス、フラダンス、フォークダンス、そして社交ダンスと入れ替わりのまさにダンスパーティーで日頃の練習の成果をみなさんに発表し、3日間のまつりの締めくくりとなりました。やはり来場者数は天候に左右されましたが、さらに地域の方楽しんでいただけたらと思います。

市民講座 「江戸川柳から見る 江戸庶民の暮らし」 貫井南分館

江戸時代の娯楽的文芸(知的エンターテインメント)として江戸川柳がありました。約40万点現存する江戸川柳を読み解き、江戸時代の庶民の生活ぶりや風俗・習慣などを見てみましょう。

とき・内容 下表のとおり

講師 小栗清吾さん(江戸川柳研究家)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 40人(申込順)

費用 無料

申込 8月17日(月)から電話または直接公民館貫井南分館(☎042-383-1168)へ。

日時	内容
9/11(金)	初めての江戸川柳
9/18(金)	川柳に見る江戸の四季
9/25(金)	川柳に見る江戸の生業

※いずれも、午前10時～正午

成人大学講座

「エネルギーと地域の未来を考える」 緑分館

工学分野における未来の技術に関する話を聴き、これからの生活がどのように変化していくのか学び、想像していく。

とき・内容 下表のとおり

ところ 東京農工大学小金井キャンパス
科学博物館3階講堂

対象 高校生以上の市内在住・在勤・在学の方

定員 70人(申込順)

費用 無料

申込 電話または直接公民館緑分館(☎042-387-7301)へ。

日時	内容	講師
9/5 (土)	木質バイオマスのエネルギー利用 —木材生産、エネルギー変換—	岩岡 正博さん
9/12 (土)	小水力発電の利用と地域の活性化	亀山 秀雄さん
9/19 (土)	再生可能エネルギーの普及を促す 賢い電気の使い方は?	池上 貴志さん

※いずれも、午前10時～正午

成人大学講座

「江戸から明治へ～激流を支えた人間力」 本館

幕末期から明治維新へと至る時代に注目し、NHK大河ドラマも教材としながら「江戸期」について学ぶこととします。

とき・内容 下表のとおり

ところ 東京学芸大学S-410号室

講師 大石 学さん(東京学芸大学教授)

定員 200人(申込順)

※市内在住・在勤・在学180人、一般20人

費用 無料

申込 8月17日から電話、または直接公民館本館
(☎042-383-1184)へ。

回	日時	内容
1	9/10(木)	幕末期の人間模様
2	9/24(木)	江戸の教育力
3	10/1(木)	NHK大河ドラマに見る明治維新

※いずれも午後2時～午後4時

公民館緑分館 休館のお知らせ

9月14日(月)～9月19日(土) 予定

公民館緑分館は館内照明器具の改修工事のため、上記の期間一時休館を予定しています。

お問い合わせは公民館緑分館

(☎042-387-7301)まで

※図書館緑分室は

9月14日(月)～16日(水)まで 迷惑をおかけして申し訳ありません



第56回関東甲信越静公民館研究大会 兼 第52回 東京都公民館研究大会 「公民館 その新たな可能性」 ～東京都、戦後70年目の温故知新～

とき 11月14日(土) 10時～16時(受付開始9時30分)

ところ 小平市民文化会館(ルネこだいら)

主催 公益社団法人全国公民館連合会
関東甲信越静公民館連絡協議会
東京都公民館連絡協議会

内容

〈午前〉基調講演「持続可能な社会づくりと公民館」

講演者：末本誠(神戸大学名誉教授)

〈午後〉シンポジウム「持続可能な社会づくりと公民館の新たな可能性」

シンポジスト：末本誠、神代浩(元文部科学省生涯学習政策局社会教育課長)、木下巨一(長野県飯田市公民館職員)、井口啓太郎(国立市公民館職員)

コーディネーター：上田幸夫(日本体育大学教授)

参加費 3,500円

申込 8月31日(締切) 詳細・申込方法は、各公民館にある開催要項をご覧ください。

問合先 公民館本館(☎042-383-1184)

公民館からのお知らせ

●東センター(公民館東分館・図書館東分室)の事業運営を委託

8月1日から、公民館東分館・図書館東分室の事業運営をNPO法人市民の図書館・公民館こがねいに委託します。

委託により公民館東分館は専門的なスタッフによる活動の支援や図書館との連携による新しい事業の展開が図られます。公民館の利用時間や休館日(第1・3火曜日)に変更はありません。

問合先 公民館本館(☎042-383-1184)

●福祉会館の閉館に伴う説明会の開催

現在、公民館本館が入っている福祉会館は、建物の耐震上の問題から、利用者の安全面を考慮し、閉館することになりました。閉館に伴い、次のとおり地域福祉課と合同の説明会を開催します。

とき 8月5日(水)午後6時～、9日(日)午後1時～

ところ 福祉会館5階

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 90人(当日先着順)

その他 保育あり(水筒、おやつ等持参)、手話通訳あり

問合先 公民館本館(☎042-383-1184)

地域福祉課地域福祉係(☎042-387-9915)

●公民館仮移転に伴う説明会の開催

平成28年度から公民館本館を公民館本町分館へ仮移転する予定です。仮移転に伴い、利用者説明会を開催します。

とき 8月5日(水)、9日(日)いずれも午前10時～




ところ 公民館本町分館

申込方法 当日直接会場へ。

問合先 公民館本町分館(☎042-383-1170)

◆ 8月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp

小金井市公民館	公民館本町分館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館	公民館貫井北分館
中町 4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	本町 2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227	貫井南町 4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町 1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町 3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300	貫井北町 1-11-12 ☎ 042-385-3401 FAX 042-385-3402
☆成人大学講座 「江戸から明治へ～激流を支えた人間力」 市報 8月15日号に詳細		☆市民講座 「江戸川柳から見る江戸庶民の暮らし」 市報 8月15日号に詳細		☆陶芸入門教室 ☆成人大学講座 「エネルギーと地域の未来を考える」 市報 8月15日号に詳細	

心に残った一冊

「おとなしいアメリカ人」

グレアム・グリーン著 田中西二郎訳

今年には戦後70年であるが、ヴェトナム戦争終結40年でもある。この小説はその戦争が本格化する10年程前、フランスの支配下にあったヴェトナムが舞台となっている。ヴェトナムの共産化の周辺国への波及、いわゆるドミノ理論を恐れるアメリカの本格介入はまだ先の話である。

主人公はイギリス人記者ファウラー、その友人を自認するアメリカ人青年バイエルとともにサイゴンに勤務し、現地の美しい女性フウオングを巡ってライバル関係にもあった。

バイエルはハーバードを出たばかりで大使館勤務の未熟な外交官。彼はファウラーの愛人であるフウオングとの結婚を本気で考え、ファウラーに断った上で彼女と暮らすことになる。

バイエルは表向き外交官であるが、情報組織の一員で諜報活動に携わり、大学で心酔した政治理論を実践したいと考え、フランスでも共産勢力でもないナショナリズムを標榜する「第三勢力」にテコ入れする。

バイエルはプラスチック爆弾を密かに製造、「第三勢力」に供給して繁華街で大規模な爆弾テロを引き起こす。事件に遭遇し悲惨な現場を目の当たりにしたファウラーは、取材活動を通じてバイエルの仕業と知り、このアメリカ人青年の幼稚さ、無邪気さに危険を感じる。

そして彼の行動を阻止しようと共産勢力に接触し、彼が殺されることを薄々感じながら、彼らのシナリオに従いバイエルを馴染みのレストランに呼び出す。バイエルは待ち伏せされ水死体となって発見される。

著者グリーンはこの小説で超大国アメリカの無邪気さに潜む危険性を表している。物事の全貌を理解せず、信念に従い理念をそのまま実践し、多くの命を奪うことも厭わない青年の姿にアメリカを重ねた。

1955年発表の小説で、後のヴェトナム戦争、さらにはアフガン、イラクでのアメリカのふるまいを見事に予見している。またカトリック作家であるグリーンは、欧米とは異なる恋愛観を持つ女性としてフウオングを描いている。彼女はバイエルの死亡を知らされた後、何事もなかったかのようにファウラーのもとに戻る。大国に翻弄されながらもしぶとく生き抜いたヴェトナムの象徴のようでもある。

貫井北町 日下

講座報告 成人学校

「水辺緑地探訪～八国山緑地、菖蒲の北山公園と狭山丘陵の水辺を巡る～」

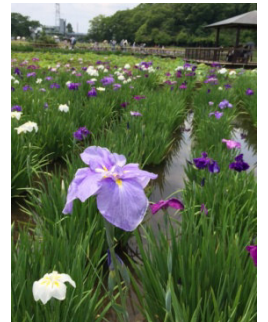
本町分館

6月10日(水)に「水辺緑地探訪」の第二弾として、東村山市の狭山丘陵の水辺を散策しました。

講師は、4月に引き続き堀井光夫さん(玉川上水に親しむ会世話人)です。

ちょうど梅雨の晴れ間に開催でき、当日はよいお天気でした。

武蔵大和駅を出発して、旧前川緑道では鮮やかな紫陽花がお出迎え。



北山公園

続く廻田緑道(地下に村山貯水池からの道水路がある)は、雑木林を抜け、日向峰と呼ばれる峰を越えると、見晴らしのよい地点があり、眺めが素晴らしかったです。

昼食会場となった北山公園では、ちょうど菖蒲まつりが行われており、満開の菖蒲が咲き誇っていました。昼食後には八国山緑地へ。東京都とは思えない森林の中を涼しく歩くことができました。

今回は緑や花も多かったですが、東村山の歴史も学べる魅力的なコースでした。

光明院跡では応永の板碑を、

正福寺では貞和の板碑や国宝の地藏堂を見ることができ、多摩の歴史を知るよい機会になったと思います。

全体として、かなりの長距離ではありましたが、有意義な一日だったという感想を多くいただきました。



八国山緑地

【経路】

武蔵大和駅→旧前川緑道→光明院跡→廻田緑道→下宅部はっけんのもり→正福寺→北山公園→八国山緑地→徳蔵寺→弁天池→東村山駅
※経路は、主要箇所を抜粋しています。